

令和元年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市美術館	千葉市民ギャラリー・いなげ
条例上の設置目的	千葉市美術館条例（平成7年千葉市条例第34号）（抄） 第1条 本市は、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、次のとおり千葉市美術館を設置する。	千葉市民ギャラリー・いなげ設置管理条例（昭和63年千葉市条例第40号）（抄） 第1条 本市は、市民の美術作品の発表及び鑑賞並びに制作のための施設として、次のとおり市民ギャラリーを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	市民の創造的な文化・芸術活動を支えるべく、地道な研究の成果と高度な専門知識に裏付けられた質の高い事業を展開するとともに、市民利用をさらに促進していくこと。	幅広い世代の人々が親しく美術に触れ合う場、市民文化創造の拠点となること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と密接に結びついた市民参加型の美術館であること。 ・生涯学習の機能を兼ね備えた美術館であること。 ・首都圏の中で埋没することのない個性を備えた魅力ある美術館であること。 ・市民の文化・芸術の拠点として市の発展とともに成長する美術館であること。 ・現代から未来を志向し、国際的視野から市民の美意識を育てる質の高い美術館であること。 	<p>【市民に身近な芸術活動の拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の展示・制作の場 ・美術作品の制作指導等の実施
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、利用者の視点に立ったきめ細やかな施設運営など、住民サービス・利便性の向上により、さらに多くの市民に両施設を利用してもらうという効果を見込んでいる。市としては、この制度導入効果を達成するため、指定管理者の企画運営により柔軟で多様な工夫が發揮されることや、専門性の発揮により、魅力・特色ある施設運営が行われ、さらなる来館者の増加に寄与されることを期待する。	
成果指標※	① 展覧会入場者数 ② 施設稼働率	① 利用者数（市民ギャラリー・いなげ） ② 利用者数（旧神谷伝兵衛稻毛別荘） ③ 施設稼働率
数値目標※	① 152,000人以上 ② 48%以上	① 34,000人以上 ② 11,000人以上 ③ 54%以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団	
構成団体 (共同事業体の場合)		
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7番7号	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年）	
選定方法	非公募	
非公募理由	施設の設立経緯及び美術館としての機能、業務の特性等により、管理運営は同一団体が継続して担うほうが合理的かつ効率的であるため。	展覧会の企画や講習会の実施等に当たり美術品の展示に関する専門性を要するとともに、隣接する国登録有形文化財（旧神谷伝兵衛稻毛別荘）の管理に係る経験等も要求されるものであるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入	

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 千葉市美術館

成果指標	数値目標※	R元年度実績	達成率
展覧会入場者数	見直し前：152,000人以上 見直し後：140,000人以上	136,597	97.6%
施設稼働率	48%以上	48.9%	101.8%

※展覧会の入場者数の数値は、平成31年度事業計画書において、美術館拡張整備工事による休館（R元.1～R2.3）を見込んだことから、数値目標の見直しを行っている。

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

成果指標	数値目標※	R元年度実績	達成率
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	34,000人以上 (32,400人以上)	23,347人	68.7% (72.1%)
利用者数 (旧神谷伝兵衛稻毛別荘)	見直し前：11,000人以上 (10,800人以上) 見直し後：2,000人以上	921人	46.1%
施設稼働率	54%以上	48.6%	90.0%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。なお、旧神谷伝兵衛稻毛別荘の利用者数の数値は、平成31年度事業計画書において、耐震改修工事による休館（H30.6～R2.1）を見込んだことから、数値目標の見直しを行っている。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	R元年度実績
友の会会員数（普通会員数）2,500人	1,494人
友の会会員数（賛助会員数）50人	36人（個人）、4件（法人）

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

費 　目		R元年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	264,854	269,045	実績-計画	69	
	計画	264,785	269,045	計画-提案	△ 46,007	工事に伴う館内環境整備の中止等
	提案	310,792	292,689			
利用料金収入	実績	57,536	36,732	実績-計画	△ 19,526	展覧会における利用者見込みと実績の差
	計画	77,062	56,051	計画-提案	12,464	展覧会内容の変更等による
	提案	64,598	60,012			
その他収入	実績	24,772	25,357	実績-計画	△ 5,601	図録販売見込みを大幅に下回ったため
	計画	30,373	41,552	計画-提案	9,173	助成金申請数の増
	提案	21,200	26,400			
合計	実績	347,162	331,134	実績-計画	△ 25,058	
	計画	372,220	366,648	計画-提案	△ 24,370	
	提案	396,590	379,101			

イ 支出

費 　目		R元年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	136,616	118,389	実績-計画	△ 9,182	職員構成の変更等による減
	計画	145,798	137,251	計画-提案	10,661	リニューアルオープンに向けての職員増
	提案	135,137	138,305			
事務費	実績	50,714	46,062	実績-計画	1,040	工事に伴う光熱水費の増
	計画	49,674	51,546	計画-提案	△ 16,609	過年度実績による光熱水費の精査
	提案	66,283	66,600			
管理費	実績	0	0	実績-計画	0	
	計画	0	0	計画-提案	0	
	提案	0	0			
委託費	実績	9,970	7,847	実績-計画	97	
	計画	9,873	9,425	計画-提案	△ 25,700	工事に伴う館内環境整備の中止
	提案	35,573	10,573			
その他事業費	実績	137,148	141,201	実績-計画	△ 18,046	旅費交通費、消耗品費の節減
	計画	155,194	156,646	計画-提案	8,968	展覧会開催の委託費の増
	提案	146,226	151,843			
間接費	実績	8,738	8,713	実績-計画	△ 2,943	事務局人件費の減
	計画	11,681	11,780	計画-提案	0	
	提案	11,681	11,780			
合計	実績	343,186	322,212	実績-計画	△ 29,034	
	計画	372,220	366,648	計画-提案	△ 22,680	
	提案	394,900	379,101			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

別紙のとおり

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 　目		R元年度	【参考】 H30年度
自主事業収入	実績	1,818	1,694
その他収入	実績	0	0
合計	実績	1,818	1,694

イ 支出

(単位：千円)

費 　目		R元年度	【参考】 H30年度
人件費	実績	445	445
事務費	実績	1,339	91
管理費	実績	0	0
委託費	実績	150	366
使用料	実績	0	0
事業費	実績	454	687
利用料金	実績	108	105
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	121	123
合計	実績	2,617	1,817

間接費の配賦基準・算定根拠

別紙のとおり

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R元年度	【参考】H30年度
必須業務	収入合計	347,162	331,134
	支出合計	343,186	322,212
	収 支	3,976	8,922
自主事業	収入合計	1,818	1,694
	支出合計	2,616	1,817
	収 支	△ 798	△ 123
総収入		348,980	332,828
総支出		345,802	324,029
収 支		3,178	8,799
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 千葉市美術館

評価項目	市の評価	特記事項
展覧会入場者数	C	
施設稼働率	C	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数（市民ギャラリー・いなげ）	D	新型コロナウイルスの影響による
利用者数（旧神谷伝兵衛稻毛別荘）	C	
施設稼働率	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	削減額の要因は、工事に伴う館内環境整備の中止等によるものであり、工事を考慮した計画どおりであるため。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

（D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）

—：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	B	C	台風被害による臨時休館、拡張工事による緊急対応や施設管理、および「目」展が好評で来館者増による緊急対応等、市と調整を図りながら実施したことについては、評価できるものの、概ね提案どおりの内容であり、総合的に判断した結果、管理運営の基準等と同程度の評価とした。
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	
管理運営の執行体制 必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	
開館時間・休館日 利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	C	C	
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	C	C	

【評価の内容】

- A : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C : 概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D : 一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
美術館の市民利用状況について、任意のアンケートだけではなく、全体の状況をより正確に把握できる方策を検討されたい。	平成30年度	全体の状況をより正確に把握できるよう回答者数増加に努め、受付にタブレット端末を設置することで回答しやすい環境を整えました。
美術館の入場者数について、展覧会ごとの目標と実績の差を検証するなど、実態を細かく分析し、実績向上の参考とするよう努められたい。	平成30年度	検証の結果、経年で30代以下の利用が少ないことが示されたことから、展覧会のテーマとその主たる入場者層を想定し、的確な情報発信に努めました。
(ウ) 美術館「友の会」の会員数について、目標を達成できるよう、減少理由を分析し、増加に向け工夫されたい。	平成30年度	制度上、継続利用をする利用者が少ないことから、これまでの制度の見直しを検討し、R2のリニューアルオープンに合わせ新制度に移行予定です。
市民ギャラリー・いなげについて、美術に親しむ活動を始めるきっかけづくりの場となるような新しい取組みなど、市民利用を増やす方策を検討されたい。	平成30年度	近隣の稻毛公民館と連携して、「いなげ八景」をテーマとした水彩画教室を開催した。完成後、当館が主催する「いなげ八景水彩画コンクール」に出品する作品が多く見られた。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

ア 千葉市美術館

実施内容	調査方法	展覧会の会場にアンケート用紙・ボックスを設置し、来場者の意見等を収集した。
	回答者数	1,920件
	質問項目	年齢、性別、住所、交通手段、展覧会を知った媒体、来館回数、展覧会の感想、その他本施設に対する意見
結果	<p>ア 回答者の属性：</p> <p>年齢 (10歳未満 2.3%、10代 5.9%、20代 22.9%、30代 10.6%、40代 15.9%、50代 16.4%、60代 14.1%、70代 8.2%、80歳以上 1.7%、無回答 2.1%)</p> <p>性別 (男性 36.2%、女性 61.1%、無回答 2.7%)</p> <p>住所 (市内 24.7%、県内 26.8%、都内 25.1%、その他 21.5%、無回答 1.9%)</p> <p>イ 交通手段：</p> <p>J R 千葉駅より徒歩 32.2%、J R 千葉駅よりバス 6.2%、J R 千葉駅よりタクシー 1.6%、C-bus 3.6%、京成千葉中央駅 12.2%、モノレール 6.9%、自家用車 16.1%、自転車 2.6%、その他 7.9%、無回答 10.7%</p> <p>ウ 展覧会を知った媒体（複数回答）：</p> <p>新聞 12.6%、雑誌・ミニコミ 0.8%、テレビ・ラジオ 6.0%、チラシ 21.2%、ポスター 10.4%、市政だより 2.3%、知り合いから 14.3%、友の会・美術館ニュース 2.4%、千葉市美術館ホームページ 11.1%、その他インターネットサイト 24.9%、館に来て 1.4%、千葉市美術館ツイッター 5.4%、その他 10.4%</p> <p>エ 来館回数：</p> <p>はじめて 45.6%、2～3回 16.4%、4～5回 9.6%、6回以上 25.5%、無回答 2.9%</p> <p>オ 感想：</p> <p>大変よかったです・期待以上 58.7%、よかったです・期待どおり 28.1%、普通 5.4%、あまりよくなかった 2.2%、よくなかった・期待はずれ 1.9%、無回答 3.6%</p>	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

実施内容	調査方法	ギャラリー棟・別荘にアンケート用紙と回収箱、ギャラリー棟に意見箱を用意し、来館者の意見を収集した。
	回答者数	204件
	質問項目	来館日、性別、年齢、住所、利用施設、申込・受付方法、施設の管理・清掃、受付・窓口の対応、気づいた点
結果	<p>ア 回答者の属性</p> <p>年齢 (10代 4%、20代 3%、30代 3%、40代 7%、50代 12%、60代 23%、70代 37%、80代以上 13%)</p> <p>性別 (男性 41% 女性 59%)</p> <p>住所 (中央区 8%、花見川区 17%、稲毛区 24%、若葉区 3%、緑区 2%、美浜区 22%、その他 25%、)</p> <p>イ 利用施設：ギャラリー棟 100%、別荘 0%</p> <p>ウ 申込・受付方法：今のままでよい 95%、改善してほしい 5%)</p> <p>エ 清掃状況</p> <p>ギャラリー棟 (良い 89%、普通 10%、良くない 1%)</p> <p>別荘 (良い 100%、普通 0%、良くない 0%)</p> <p>オ 窓口・受付対応</p> <p>ギャラリー棟 (良い 85%、普通 15%、良くない 0%)</p> <p>別荘 (良い 98%、普通 2%、良くない 0%)</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

ア 千葉市美術館

主な意見・苦情	指定管理者の対応
地下駐車場から目的地までが分かりづらい	利用者を駐車場から目的地までスムーズに誘導できるよう案内表記を設置した。
バスの時刻表など情報をチラシに入れてほしい	8月の「魯山人」展から実施した。

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

主な意見・苦情	指定管理者の対応
講師の講評が聴きづらい。	多人数の場合など状況によりマイクを使用する。
作品搬入や足の悪い方もおり、エレベーターなどバリアフリー化をしてほしい。	作品搬入や車いすの方には、職員出入り口を利用してもらっている。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	【美術館】 本年度は施設稼働率においては、数値目標を達成することができた。展覧会においては、「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション」展など（市民展を除く）企画展4本のうち3本において、目標入場者数を超えた。特に「目【Me】」展では2万7千人の来場者があり、現代美術の展覧会としては、これまで一番の人気となった。企画展の内容はいずれも好評であったものの、台風と大雨の影響で、「ミュシャと日本、日本とオルリック」展については、入場者を伸ばすことが出来なかった。
			【市民ギャラリー・いなげ】 本年度は施設稼働率、利用者数とも目標値を下回った。旧神谷伝兵衛稻毛別荘が耐震改修工事のため11ヶ月にわたり休館していた影響も考えられる。企画展においては、予定の8回を実施できた。「いなげ八景水彩画コンクール」は3回目を迎える、出品数も増えつつある。講習会においては、参加人数は大きく伸ばせなかつたが、工夫した内容でどれも好評であった。

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	【美術館】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。 展覧会の総入場者数は、これまで減少傾向にあったものの13万人台まで増加しており評価できる。アンケート結果に20代が2割を占めるなど、新たな利用者層を獲得しており企画内容の創意工夫が見られ努力の跡がうかがえる。リニューアル後に新設される子どもアトリエやワークショッフルームなどの体験・交流ゾーンでの事業についても魅力ある事業展開を図るとともにさらに効果的な広報に努められたい。 【市民ギャラリー・いなげ】 概ね計画通り、良好に管理運営が行われている。 学校や市内芸術家、周辺地域と連携を図り、企画展や講習会を実施し、地域文化・アート拠点として地域に根差した美術文化の発信に取り組んでいることは評価できる。3月より再開館した旧神谷伝兵衛稻毛別荘を活かした若年層に向けた新たな取り組みなど利用者増加に向けた、効果的な事業を展開されたい。

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア	市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。
イ	管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について <ul style="list-style-type: none"> (ア) 美術館のリニューアルオープンに向けて、より一層活発な運営を期待する。 (イ) 美術館の友の会の会員数について、リビーターの確保のため、更新する周知に取り組まれたい。 (ウ) 市民ギャラリー・いなげについて、利用者が高齢化する中、新進気鋭のアーティストの活用など、若い利用者層へのアプローチがされている点が評価できる。 (エ) 市民ギャラリー・いなげの講習会が大変盛況であることから、イベントの開催に今後も力を入れられたい。 (オ) 旧神谷伝兵衛稻毛別荘の周知を図り、市民ギャラリー・いなげの集客効果をさらに高められたい。 (カ) 市民ギャラリー・いなげについて、商店街や地域との連携をより一層図られたい。 (キ) 指定管理者の財務状況について、計算書類の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況は良好であり、特段の問題は見られないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。